

〔主催〕



国土交通省国土技術政策総合研究所



独立行政法人港湾空港技術研究所

平成21年度

港湾空港技術講演会

入場無料

本講演会は国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人港湾空港技術研究所で実施している調査、研究及び技術開発の成果を公表し、その普及に努めることを目的に開催しております。

当日は、研究者から最新の研究成果の発表を行うとともに、特別講演として株式会社 神戸製鋼所 顧問 宮崎純氏をお招きしての御講演を予定しておりますので、皆様方のご来聴をお待ちしております。

日 2009年
10月22日(木)
時 10:00~16:20

開催場所 **発明会館**
(東京：虎ノ門)

Time Schedule

- 09:40 開場
- 10:00 開会あいさつ 港空研 理事長 金澤 寛
- 10:15 東シナ海における漂着ゴミ予報実験
国総研 沿岸海洋研究部 沿岸域システム研究室長 日向博文
- 11:00 締りめ砂杭改良地盤の変形メカニズムの再検討
港空研 地盤・構造部 地盤改良研究チーム 主任研究官 高橋英紀
- 11:45 休憩
- 13:00 特別講演
公的研究機関と企業研究所のそれぞれの役割と期待
株式会社 神戸製鋼所 顧問 宮崎 純
- 13:45 砂浜海岸における地形変化
港空研 海洋・水工部 沿岸土砂管理研究チームリーダー 栗山善昭
- 14:30 休憩
- 14:45 港湾構造物の信頼性設計法に関する研究動向について
国総研 港湾研究部 港湾施設研究室長 長尾 毅
- 15:30 海洋メカトロニクスと水中音響技術の維持管理事業への適用
港空研 施工・制御技術部 計測・制御研究チームリーダー 吉江宗生
- 16:15 閉会の辞 国総研 副所長 松本清次
- 16:20 閉会

● 講演者プロフィール



宮崎 純

株式会社 神戸製鋼所 顧問

【専門分野】

統計熱力学(1976年2月Stanford大学 Ph.D取得)
鋼の連続鋳造法(神戸製鋼所 中央研究所時代)

【受賞歴】

昭和63年(1988年) 機械振興協会賞受賞
平成10年(1998年) 神戸市産業功労者賞受賞

【略歴】

昭和46年(1971年)3月
京都大学工学部冶金学科卒業

昭和46年(1971年)4月
(株)神戸製鋼所入社

平成15年(2003年)6月
執行役員、技術開発本部副本部長

平成16年(2004年)4月
技 監

平成21年(2009年)4月
顧 問

平成19年(2007年)4月から
平成21年(2009年)6月まで
(独)港湾空港技術研究所非常勤監事を兼務

講演名 公的研究機関と企業研究所のそれぞれの役割と期待

研究所の運営では、研究につきものの不確実性もふまえ、限られたリソースを活用して成果を出すことが求められる。民間企業と公的機関の研究マネジメントに携わった経験から、それぞれの役割と期待について述べたい。

日向博文

国土交通省国土技術政策総合研究所
沿岸海洋研究部
沿岸域システム研究室長



講演名

東シナ海における漂着ゴミ予報実験

近年、マスコミが東シナ海や日本海に面する海岸に漂着するゴミについて頻繁に取り上げるようになってきた。本講演では、ゴミの発生源、漂流過程を明らかにし、継続的なモニタリングを行うことを柱として平成19年度にスタートした「東シナ海沿岸における漂着ゴミ予報実験(研究代表者:磯辺篤彦・愛媛大)」について紹介するものである。

長尾 毅

国土交通省国土技術政策総合研究所
港湾研究部 港湾施設研究室長



講演名

港湾構造物の信頼性設計法に関する研究動向について

港湾の施設の技術上の基準が2007年に改定され、性能照査法として信頼性設計法が導入された。しかし、全ての性能照査法が信頼性設計法に移行したわけではなく、国総研では継続して港湾構造物の信頼性設計法に関する研究を行っている。本講演では、その最近の研究動向について紹介する。

高橋英紀

独立行政法人 港湾空港技術研究所
地盤・構造部 地盤改良研究チーム
主任研究官



講演名

締固め砂杭改良地盤の変形メカニズムの再検討

我が国の主要な地盤改良工法の1つである締固め砂杭改良工法(Sand Compaction Pile Method)について、限界状態設計の概念に根ざした砂杭改良地盤の変形メカニズムを再検討しており、その研究内容の一部を紹介する。

吉江宗生

独立行政法人 港湾空港技術研究所
施工・制御技術部 計測・制御研究
チームリーダー



講演名

海洋メカトロニクスと水中音響技術の維持管理事業への適用

わが国の港湾構造物の多くは供用後長い年月が過ぎてきている。これらが使用に耐えるかどうか判断するためには、効率的にデータを取得する必要がある、再整備する場合は供用中の他の施設の近傍での施工となる。本講演では、これらについての海洋メカトロニクス及び水中音響技術の適用について紹介する。

栗山善昭

独立行政法人 港湾空港技術研究所
海洋・水工部 沿岸土砂管理研究
チームリーダー



講演名

砂浜海岸における地形変化

茨城県鹿島灘海岸に位置する波崎海洋研究施設で観測された海浜変形の実態を紹介するとともに、それを再現するための断面変化数値シミュレーションモデルの概要を説明する。

● 申し込み方法 / 問い合わせ先

● 申込方法: 参加ご希望の方は貴所属団体名、住所、氏名、電話番号を記載の上、FAX、郵送、e-mailのいずれかの方法にて10月20日(火)までに下記宛先までご連絡下さい。(様式自由)。参加者多数の場合は、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

● 宛 先: 独立行政法人 港湾空港技術研究所
企画管理部 企画課(講演会担当)
〒239-0826 神奈川県横浜須賀市長瀬3-1-1
TEL:046-844-5040 FAX:046-844-5072
e-mail:kikaku@ipc.pari.go.jp

● 問い合わせ

国土交通省 国土技術政策総合研究所
管理調整部 企画調整課
TEL:046-844-5019
<http://www.y.sk.nilim.go.jp/>
独立行政法人 港湾空港技術研究所
企画管理部企画課
TEL:046-844-5040
<http://www.pari.go.jp/>

● 開催場所

発明会館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-14
TEL 03-3502-5499 FAX 03-3593-2763

● アクセス

地下鉄銀座線 虎ノ門駅下車
3番出口徒歩5分

